

Broaden your horizons³⁰ ~さぁ、視野を広げて!~



こんにちは。メディセレのしゃっちょう、児島恵美子です。MBA取得時、「大学の生き残り」という論文を書き、その中で薬学部の生存競争について取り上げました。教授が「おもしろいからマスコミに発表しなさい」と言ってくださったのですが、薬学部受験者が減少してはいけなないと考え、思いとどまりました。あれから数年、薬学部は予想通り厳しい状況になってまいりました。

「薬学部、3年連続定員割れ17校」——。10年前まで薬学部の倍率は20倍近くありました。18歳人口が減る中、私立薬学部は27大学から55大学(国公立込74大学)と急増し、薬学部が6年制になりました。ボーダーフリーの大学も出てきています。さらに、6年制1期生も2期生も5年次進級率が8割を下回っています。大学は企業ではありません。ですから、大学はそんなに簡単にはつぶれない仕組みになっています。しかし、万一廃校となれば一番の被害者は学生です。

18歳人口が減っている今、薬学部に限らずこの大学も学生募集に苦労されており、そこで、生き残るためにブランディング作戦に出る大学が増えています。作戦が成功した大学には、優秀な学生が集まります。薬学部ももっと他学部との違いを前面に出すべきです。薬剤師もブランディングをしていくべきだと思います。『日経WOMAN』3月号の女性が選ぶ幸せな仕事第3位に薬剤師がランクインしました。医師が7位、看護師が20位ということを見ると大健闘です。ちなみに1位がマーケティング、2位が教育です。ただ、20位の看護師については処方権や調剤権を獲得するといった職能拡大を図る動きがあることから、「将来性はNo1」となっていたことが気になります。薬剤師を「将来性No1」にもしたいです!

この状況を憂いていても始まりません。未来は私たちが切り拓くもの。起業して痛感したこと、それは未来を切り拓くために必要なものは財力ではない、人脈と知識と情熱である。さぁ、一緒に薬剤師の未来を輝かせましょう!

6月5日(日)に次世代の薬剤師を創る会をメディセレスクール大阪校で実施します。メディセレ講師であり、薬剤師であり、心理カウンセラーであり、NR(栄養情報担当者)でもある小倉が「栄養指導」の講義をします。私が今すぐ活かせる心理講座をいたします。皆様にお会いできればうれしいです(すぐ定員オーバーになりますので、お気をつけて)。